



禅寺へ 龍の天井画を 見に行こう

水を司る龍神は法の雨（仏法の教え）を降らすと言われ、また火災からの守り神として多くの本山に描かれました

妙心寺

市バス 26
「妙心寺北門前」

狩野探幽が8年の歳月を費やして描いた雲龍図。見る位置や角度により龍の動きや表情が変化するように見えることから「八方睨みの龍」と呼ばれる。

【通年公開】重要文化財

建仁寺

市バス 206
「東山安井」

画家の小泉淳作氏により、約2年の歳月をかけて描かれた108畳にも及ぶ水墨画の大作『双龍図』。

【通年公開】

東福寺

市バス 208
「東福寺」

法堂の鏡天井に描かれた『蒼龍図』は、堂本印象がわずか17日間で描き上げたといわれる。

【通年公開】※建物外からの鑑賞

南禅寺

市バス 5
「南禅寺永観堂前」

明治大正期に活躍した京都画壇四条派の画家・今尾景年による大作。

【通年公開】※建物外からの鑑賞



京都市バス
おてなしプロジェクト